



●平成29年8月号 ●No.118 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601 館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527  
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



館山夕日桟橋へのクルーズ船の寄港風景

最終日（6月27日）は、各

6月13日と14日は、10人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをただしました。  
6月20日は、各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

6月定例会において、会期初日（6月8日）は、会期間にわたり開かれ、市長から提案された3議案が、いずれも原案どおり可決されました。各議案について提案理由の説明を行い、その後、先決議案が審議されました。

6月定例市議会は、6月8日から6月27日までの会期20日にわたり開かれ、市長から提案された27議案と議会から提出された3議案が、いずれも原案どおり可決されました。

平成29年第1回臨時市議会（4月13日開催）  
**館山市市税条例の一部を改正する  
条例の専決処分の承認についてなど**  
を議決

## ■主な内容■

- ★議案の概要と委員会審査 3~6頁
- ★一般質問 7~11頁
- ★議決結果 12頁

委員会の委員長が、委員会での審査の経過及び結果を報告した後、質疑、討論、採決を行いました。  
続いて、追加議案の審議及び議会提出の議案の審議を行い、採決した後に閉会しました。

## 正副議長の紹介

## ▼第43代市議会議長に 榎本祐三議員



▼第61代副議長に

太田 浩議員



た、太田浩議員が副議長になつたこと等に伴い、地域資源有効活用調査特別委員会の委員に福岡信治議員が、議会改革特別委員会に石井信重議員が、三芳水道企業団議会議員に本多成年議員が、それぞれ選任されました。

石井信重副議長の辞職に伴う副議長選挙の結果、太田浩議員が副議長に当選しました。

議長選挙の結果、榎本祐三議員が議長に再選されました。榎本議長は、当選後の挨拶で、「皆様方のご推挙によりまして、議長職を再任していましたが、だきましたこと、大変、名誉に思いますとともに、責任の重さを痛感しております。館山市議会にも、これから改革していくいかなければならぬことを

市民の皆様から期待される議会を、皆様とともに目指し、館山市の発展のために、寄与していきたいと思っておりま  
すので、どうか、従前どおり、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。」と述べました。

### ▼議会構成の一部を変更

太田副議長は、当選後の挨拶で「副議長の責任の重さを痛感しているところです。議長をしつかり補佐し、円滑な議会運営に努めてまいります。館山の発展のために、精一杯努力する所存でございます。どうか、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願ひします。」と述べました。

## 各委員会委員の紹介

議長 榎本祐三

△ 総務委員会委員（6人）  
（◎委員長 ○副委員

◎石井 太田 福岡 信治  
○内藤 浩宏 敏宏  
吉田 鈴木 正二 欽次  
惠年

文教民主委員会委員（6人）  
○森 正一  
瀬能 孝夫  
石井 敬之  
○鈴木 順子  
望月 昇  
石井 信重

建設経済委員会委員（6人）

▼議会運営委員会委員（9人）  
◎龍崎 滋 ○石井 信重

表彰状の伝達

▼議会改選特別委員会委員（8人）  
○瀬能 孝夫  
○石井 敏宏  
石井 敬之  
吉田 本多  
惠年 成年  
鈴木 順子  
鈴木 正一  
石井 信重  
石井 信重

▼地域資源有効活用調査特別委員会委員（8人）

森室 厚美 石井 敏宏  
正一 石井 敬之

## 次の定例会の予定

- 開会日  
8月31日(木)午前10時から
  - 一般質問  
9月5日(火)、6日(水)  
5日、6日は午前10時から
  - 予備日  
7日(木)午後1時から
  - 請願・陳情提出締切:  
8月24日(木)正午まで



## 永年勤続表彰の伝達

に議場において表彰状の伝達が行われました。

# 議案の概要と委員会審査

6月定例会に提案された  
議案を紹介します。

祉センター維持補修費は含まれるのかと聞いたところ、現段階では使途は具体的には決まっていない、との説明がありました。

条例の改正をすることだとが、新たに貸付を受ける者の推移について聞いたところ、年度は7名、平成28年度は7名と推移している、との説明がありました。

## 議案第34号 館山市庁舎建設基金条例の一部を改正する条例の制定について

業振興施策などに対し有効活用を図ろうとするもの。実運用型の基金から、原資を取り崩すことができる基金に変更することにより、財源の有効活用を図るものである、との説明がありました。

## 議案第38号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

き、総合整備計画を変更することについて議会の議決を求めるとするもの。

#### 総務委員会の審査

変更の理由について聞いたところ、トンネル改修工事において、平成28年度の詳細設計により地山との空隙部への対策として、モルタル吹き付けやロックボルト打ち込みを追加したことによるものであり、との説明がありました。

#### 議案第40号 平成29年度

#### 館山市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ4億7469万4千円を追加し、総額181億4089万4千円としようとするもの。

#### 総務委員会の審査

学校給食センターの跡地利用について聞いたところ、新学校給食センターの方針が決まり次第検討を始める、との説明がありました。また、PFI導入の結論はいつ出るのかと聞いたところ、建築基準法第48条ただし書の変更許可が出た時点で導入の検討を始める、との説明がありました。

**議案第41号 平成29年度**

**館山市国民健康保険特別会計**

**補正予算(第1号) Ⅱ 1億312万円を減額し、総額74億9545万7千円としようとするもの。**

#### 文教民生委員会の審査

##### (委員長 石井敬之議員)

保険給付費で、過去3年間の医療費実績による当初予算、見込み額の見直しとの事での減額が多いが、主な理由は何か聞いたところ、今回の補正是過去3年間の医療費の推移、実績に基づいて積算をしているものであり、今回減額となつた主な理由は、被保険者数の減少に伴つて、総医療費が減つてきていることによるものである。被保険者数が減少した理由としては、1つは人口減少による減、もう一つはパートタイマー、短時間労働者の社会保険加入の要件が緩和され、社会保険に加入する人が増えたことによる被保険者数の減である、との説明がありました。

#### 議案第40号 平成29年度

##### 館山市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ4億7469万4千円を追加し、総額181億4089万4千円としようとするもの。

#### 総務委員会の審査

学校給食センターの跡地利用について聞いたところ、新学校給食センターの方針が決まり次第検討を始める、との説明がありました。また、PFI導入の結論はいつ出るのかと聞いたところ、建築基準法第48条ただし書の変更許可が出た時点で導入の検討を始める、との説明がありました。

年度に退職医療制度が廃止となつたが、平成26年度までに入っていた人が65歳になるまでの間は、制度が存続する形となつている。このため、平成31年度に完全に廃止となるまでの間、65歳に達するまでの年齢層が毎年、1年齢分ずつ減していくこととなる。このような理由により、実績として、減額率が大きくなつていくということである、との説明がありました。

#### 議案第40号 平成29年度

##### 館山市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ4億7469万4千円を追加し、総額181億4089万4千円としようとするもの。

#### 総務委員会の審査

学校給食センターの跡地利用について聞いたところ、新学校給食センターの方針が決まり次第検討を始める、との説明がありました。また、PFI導入の結論はいつ出るのかと聞いたところ、建築基準法第48条ただし書の変更許可が出た時点で導入の検討を始める、との説明がありました。

財政調整基金積立金は、平成28年度決算見込みの剩余金の半額を積み立てることだが、その根拠は何か。また、今回の補正後の積立金の額について聞いたところ、財政調整基金積立金は、地方財政法第7条第1項の規定により、繰越金の半額を積み立てていくことを例としている。今後も、税率の引き下げや、今回の減額補正などに影響していると考えていいのか聞いたところ、国民健康保険制度については、支払うべき医療費から国庫補助金を除いた分を税で賄(まかな)うことになる。必要な額に對して、収納率が良ければ、その分、掛ける額が減つくるということになる、との説明がありました。

#### 議案第42号 賠償損害の額の決定及び和解について

##### Ⅱ 平成25年に発生した、那古市営住宅敷地内児童公園における事故に関し、損害賠償についての協議が調つたので、その額の決定及び和解について、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるとするも

た。  
えを聞いたところ、基金の使い方については、今回、税率を引き下げているところでもあり、標準税率が高かつたと聞いてまた上げるとなると、被保険者にとつて混乱の元になると思うので、その場合はあるが、5年前の平成24年度は91・04パーセントであつたのが、平成28年度は93・05パーセントということで、2・01パーセントの増となつて、との説明がありました。

#### 議案第42号 賠償損害の額の決定及び和解について

##### Ⅱ 平成25年に発生した、那古市営住宅敷地内児童公園における事故に関し、損害賠償についての協議が調つたので、その額の決定及び和解について、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるとするも

た。  
財政調整基金積立金は、平成28年度決算見込みの剩余金の半額を積み立てることだが、その根拠は何か。また、今回の補正後の積立金の額について聞いたところ、財政調整基金積立金は、地方財政法第7条第1項の規定により、繰越金の半額を積み立てていくことを例としている。今後も、税率の引き下げや、今回の減額補正などに影響していると考えていいのか聞いたところ、国民健康保険制度については、支払うべき医療費から国庫補助金を除いた分を税で賄(まかな)うことになる。必要な額に對して、収納率が良ければ、その分、掛ける額が減つくるということになる、との説明がありました。

都道府県化された際の財政調整基金の使い方に對して、例えは県から今より高めに保険料を示された場合に、基金を保険料の減少に流用するのか、あるいはいざという時のためにあくまでもブールしておこのか、市としての考

#### 議案第42号 賠償損害の額の決定及び和解について

##### Ⅱ 平成25年に発生した、那古市営住宅敷地内児童公園における事故に関し、損害賠償についての協議が調つたので、その額の決定及び和解について、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるとするも

た。  
相手方の治療費は全額賄われているのかと聞いたところ、全額賄われている、との説明がありました。

**請願第8号 法曹人口政策の早期見直し及び法曹養成制度の抜本的見直しを求める決議・意見書採択に関する請願**

えを聞いたところ、基金の使い方については、今回、税率を引き下げているところでもあり、標準税率が高かつたと聞いてまた上げるとなると、被保険者にとつて混乱の元になると思うので、その場合はあるが、5年前の平成24年度は91・04パーセントであつたのが、平成28年度は93・05パーセントということで、2・01パーセントの増となつて、との説明がありました。

## たとやま議会だより

(5)

バランスのとれた法曹人口となるよう、法曹養成制度全体の抜本的見直しを求める決議及び意見書の提出を求める請願。

**総務委員会の審査**

司法試験合格者数の減員、法曹養成制度の抜本的な見直し、裁判官及び検察官の定数増などの請願の趣旨は法曹界の現状を鑑みると了解できるとの発言がありました。

採決の結果、付託を受けました請願第8号は全員一致をもって採択するものと決しました。

**【追加議案】**

**議案第43号 館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について(6月27日提出) II 介護保険法の改正により、被保険者等に関する調査等の対象が第1号被保険者から被保険者とされたため、条例を改正しようとするもの。**

**議案第44号 損害賠償の額の決定及び和解について(6月27日提出) II 平成29年4月、市内古茂口地先で発生した事故に関し、損害賠償についての協議が調つたので、その額の決定及び和解について、地方自治法の規定により、議会の議決を求めようとするもの。**

**議案第45号 館山市農業委員会委員の任命について(6月27日提出) II 農業委員会委員が任期満了になるので、杉田恒雄さんを適任と考え、任命しようとするもの。**

**議案第49号 館山市農業委員会委員の任命について(6月27日提出) II 農業委員会委員が任期満了になるので、川名初江さんを適任と考え、任命しようとするもの。**

**議案第53号 館山市農業委員会委員の任命について(6月27日提出) II 農業委員会委員が任期満了になるので、原晴美さんを適任と考え、任命しようとするもの。**

**議案第54号 人権擁護委員候補者の推薦について(6月27日提出) II 人権擁護委員が任期満了になるので、人権擁護委員法の規定により、引き続き鈴木照夫さんを推薦しようとするもの。**

**議案第3号 国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書**

議案第2号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

議案第55号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について(6月27日提出) II 館山市固定資産評価審査委員会委員中、1名の委員の任期が満了になるので、引き続き西村芳明さんを選任しようとするもの。

**【議会提出議案】**

**発議案第1号 法曹人口政策の早期見直し及び法曹養成制度の抜本的な見直しを求める意見書について II 請願第8号の趣旨による。**

**議案第51号 館山市農業委員会委員の任命について(6月27日提出) II 農業委員会委員が任期満了になるので、山崎一正さんを適任と考え、任命しようとするもの。**

**議案第56号 館山市監査委員の選任について(6月27日提出) II 鈴木正一議員を館山市監査委員に選任しようとするもの。**



委員会視察報告会

## 意見書提出

3件の意見書を可決し、  
関係機関に提出しました。

の推進や教育環境の整備促進等のため、平成30年度教育予算の拡充を要望するもの。

4月第1回臨時会に提案された議案を紹介します。

**法曹人口政策の早期見直し及び法曹養成制度の抜本的な見直しを求める意見書**  
弁護士の質と市民の利益を適正に確保するとの観点から社会情勢に伴う法的需要とバランスのとれた法曹人口となるよう平成29年度以降更に司法試験合格者数を大幅に減員し法曹養成制度全体の抜本的見直しを行うとともに、地域から裁判官・検察官の員数確保及び適正配置が速やかにされるよう要望するもの。

**義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書**  
教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう要望するもの。

**国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書**  
国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育

## 議案第29号 平成29年度館山市一般会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ9620万円を追加し、

総額176億6620万円にしようとするもの。

主要事項として、恋人の聖地を活用し交流人口の増加を図る事業、企業誘致推進事業、海岸清掃機材購入費、「渚の駅」たてやま機能強化事業及び施設改修事業、客船等歓迎行事委託料、景観計画策定3月に成立し、公布されたことに伴い、館山市市税条例を直ちに改正する必要が生じたため、地方自治法の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

**議案第27号 館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について**

II 地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が去る3月に成立し、公布されたことに伴い、館山市市税条例を直ちに改正する必要が生じたため、地方自治法の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

**議案第28号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について**

II 地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が去る3月に成立し、公布されたことに伴い、館山市国民健康保険税条例を直ちに改正する必要が生じたため、地方自治法の規定により専決処分したので、議会に報告し、その承認を求めようとするもの。

## 議会報告会を開催します

### 市議会傍聴しませんか！

館山市議会では、市民に対する市政の情報や議案の審査の内容等を説明し、また、市民から市政に対する要望や地域の身近な問題について話し合うための議会報告会の開催を予定しております。

今年度は次の3中学校区を予定しております。

当日は18人の議員が3会場に分かれて説明を行い、また、皆様の身近な問題について一緒に考えていくたいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしております。

また、本会議が開かれた日から30日間はユーストリームを使用した録画配信も行っていますので、ご利用ください。（館山市のホームページからご覧になります。）

詳細につきましては、今後回覧や市議会のホームページ等でお知らせしてまいります。

## 会議録の検索・閲覧

6月定期会及び委員会の会議録は、8月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

「たてやま議会だより」は、平成20年5月号以降の分については、ホームページで閲覧ができます。

○平成29年7月12日  
山口県周南市議会議員・渚の駅たてやまについて

○平成29年5月10日  
山口県岩国市議会議員・地域おこし協力隊（食のまちづくり応援隊）について

ついて

○場所 市立第一中学校区  
市立第三中学校区  
市立房南中学校区

○参加料 無料

# 一般質問

## 一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、6月13日と14日の2日間にわたり、次の10名の議員が行いました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとあります。(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

(質問順)

	<b>石井 敏宏</b>	<p>①公共交通(バス会社と住民の意見交換会、病院や介護施設における送迎のマイクロバス等の運行状況、<b>高齢者の運転免許返納特典の継続的支給</b>、JRと住民の意見交換会) ②観光立市としてのあり方(有名観光地の現状把握、<b>産業としての観光の目指すべき方向性</b>) ③都市計画道路 ④安房郡市広域市町村圏事務組合の粗大ごみ処理</p>
	<b>内藤 欽次</b>	<p>①高齢者の交通手段=「足」の確保(高齢者の運転免許証返納の問題点、<b>高齢者の外出支援策</b>) ②危険な荒廃地、空き家の対策(「特定空家等」に対する行政指導、<b>荒廃地(空き地・耕作放棄地など)の対策</b>)③平和都市宣言に基づく具体的な平和事業</p>
	<b>龍崎 滋</b>	<p>①館山市の政策形成基盤(<b>市の重要施策などの決定プロセス</b>、基本構想から実現までのチェック機能、自治体シンクタンクの必要性)、 ②地産地消、食のまちづくり計画の取り組み(<b>今後の年次計画</b>、館山まるしぇの実施状況の分析)</p>
	<b>室 厚美</b>	<p>①市職員の業務遂行体制や待遇(<b>業務のやり方やチェック体制・職員の配置や業務量などの問題点の把握</b>、保育士の業務及び待遇で正規職員と非常勤職員の違い) ②市民や来訪者の交通利便性の確保(地域公共交通会議の状況、路線バス利用者が少ない原因、高齢者の閉じこもり防止対策としてのイベント時の送迎、<b>海岸駐車場の有料化</b>、サイクルツーリズムの推進方針)</p>
	<b>森 正一</b>	<p>①第三中学校の耐震化(検討状況、目途、<b>建て替えを前提とした設計の開始</b>) ②スポーツ観光の推進(遊休市有地の社会体育施設としての利活用、<b>スポーツ面からの観光振興等</b>、2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致の状況) ③ふるさと納税(総務省通達に対する検討状況・今後の方針性、市民に対する返礼品導入への対応) ④館山市公共施設等総合管理計画(市民への周知・意見反映、各地区意見交換会の開催、計画内容、学校統廃合のための地域住民との協議)</p>
	<b>望月 昇</b>	<p>①海上自衛隊館山航空基地(<b>安全安心の確保</b>、地域経済・コミュニティ活性化、機能強化と館山市の協力体制) ②城山公園無料シャトルカー等(<b>シャトルカーテスト運行の状況</b>、改善点、各観光施設管理担当部署の一元化) ③鏡ヶ浦クリーンセンター南側空き地利活用(空き地の概要、利活用の可能性) ④スクールバス(さかなクンバス) (運行上の問題点、今後の活用・増車の考え方)</p>
	<b>瀬能 孝夫</b>	<p>①館山港多目的観光桟橋の活用(海外クルーズ船の寄港実績・目標、「館山港港湾振興ビジョン」における桟橋改修計画、大型クルーズ船寄港による観光業発展の可能性)</p>
	<b>本多 成年</b>	<p>①交通手段としての自転車の役割拡大を目指す自転車活用推進法の施行(法施行により期待できる効果、<b>自転車関連施策実施のための整備</b>、国・県の支援対応の有無) ②館山市公共施設等総合管理計画(<b>老朽橋梁の対策</b>、学校再編計画の具体的な進め方、民間事業者参入への具体的な行動計画)</p>
	<b>石井 敬之</b>	<p>①館山市の観光名所(城山公園、<b>赤山地下壕跡入壕者増加のための取り組み</b>) ②<b>2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致の進捗状況</b> ③空き公共施設の利活用(現時点の空き公共施設の有無、活用方法の検討)</p>
	<b>鈴木 順子</b>	<p>①館山市高齢者保健福祉計画(重点課題、施設建設予定2カ所の状況、特別養護老人ホームの入所者増による介護保険料の負担増への影響、利用者負担引き上げによる影響) ②ふれあいきいきサロン(現状、運営スタッフは十分か、<b>障がい者や子育て中の親などの参加状況</b>) ③たび重なり発生した市役所における業務ミスについて(職員数は十分か、課内等の執務体制の整備、<b>ミスを防止するためのチェック体制</b>)</p>

※紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、8月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

# 主な質問と答弁

## 産業振興・観光振興

◆ 観光立市としてのあり方は？

産業としての観光について、今後の目指す方向を問う。

答 館山市としては、前期基本計画における入込客数の目標値を200万人、宿泊数の目標値を50万人と設定しており、目標値達成に向け、各種施策に取り組んでいるところであり、入込客数だけではなく、宿泊等滞在時間の延長による消費額の増加を図ることも重要と考えています。

館山市における滞在時間の延長及び消費額の増加を図る取り組みとして、市内飲食店で組織する「館山新・ご当地グルメ推進協議会」による地場産食材にこだわった「館山炙り海鮮丼」や「館山伊勢海老ステーキ御膳」、館山商工会議所による「いちじく寒天」など、館山のご当地グルメとして「食」のブランド化を取り組んでいるほか、館山市観光協会では、豊かな自然

環境などを活かした様々な体験プログラムを用意し、個人旅行者向けの体験観光に力を入れるなど、館山の魅力アップに努めているところです。

また、国内の人口が減少していく中、更なる消費増大につながる地域活性化策としてインバウンド観光の推進が重要なと考えています。

このインバウンド観光を推進するため、館山市では、館山市観光協会と連携し、親目的で訪日旅行者数が多い台湾をメインターゲットに誘致を進めています。台湾の高校の訪日教育旅行の受け入れや大学生のインターンシップの受け入れのほか、日本の商工会議所に当たる「日本（にほん）台湾商会」に対し、総会やサイクリングイベントの館山開催などの誘致にも動いており、着実にインバウンドによる観光振興が進んでいます。

◆ 地産地消、食のまちづくり計画の取り組みは？

問 館山まるしぇの最終目

答 本年度は6回の開催を予定していますが、次回7月は初の試みとなる「朝まるしぇ」として開催します。

この「朝まるしぇ」では、比較的涼しい早朝から開催し、朝市として、新たな「館山まるしぇ」のニーズを探りたいと考えています。

「館山まるしぇ」について、出店者や来場者からは、旬の食材の販売や定期開催などを期待する声を頂いており、その反映に努めていますが、今後も引き続き、出店者や来場者のご意見等を伺いながら、更なる賑わいの創出を目指して開催していきたいと考えています。

なお、将来的には、出店者の皆様の自主的な運営や取り組みにより、地域の活性化につながる交流の場として定着するよう努めています。

◆ スポーツ観光の推進は？

問 スポーツ合宿誘致専用

答 現在、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致に向けて、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の「東京2020（にいざろにいざろ）」事前（にいざろにいざろ）事前キヤンプガイド」では日本語、英語、フランス語の3か国語で、また、全国知事会の「Sports Camp J apan」と千葉県スポーツコンシェルジュの「S P O R T S C O N C I E R G E (コンシェルジュ)」では日本語と英語の2か国語で、それぞれ館山市のスポーツ施設やトレーニングに適した競技について掲載しています。

答 現在、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致に向けて、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の「東京2020（にいざろにいざろ）」事前（にいざろにいざろ）事前キヤンプガイド」では日本語、英語、フランス語の3か国語で、また、全国知事会の「Sports Camp J apan」と千葉県スポーツコンシェルジュの「S P O R T S C O N C I E R G E (コンシェルジュ)」では日本語と英語の2か国語で、それ

を視野に入れて設計を見直すためには「館山港湾振興ビジョン」の見直しが必要となり、これには国や千葉県のみならず、漁業者をはじめとする関係団体や関係者との協議や調整が伴い、膨大な時間と経費が掛かることが予想されます。

設置した募金箱には合計4万9238円もの寄付を頂きましたので、公園の更なる緑化等の経費に充てさせていただきたないと考えています。

◆ 館山港多目的観光桟橋の活用は？

問 大型客船の寄港を視野に入れた館山港多目的観光桟橋の設計の見直しについて問う。

(瀬能孝夫議員)

答 大型クルーズ船の寄港を視野に入れて設計を見直すためには「館山港湾振興ビジョン」の見直しが必要となり、これには国や千葉県のみならず、漁業者をはじめとする関係団体や関係者との協議や調整が伴い、膨大な時間と経費が掛かることが予想されます。

◆ 城山公園無料シャトルカー等観光施設は？

問 シャトルカーテスト運行の状況を問う。

(望月昇議員)

答 運行は、4月15日の土曜日及びゴールデンウイーク期間中の土日祝日の計8日間を行い、シャトルカーに乗車された来園者は延べ1590人で、大変好評を頂きました。

昨年度は、千葉市及び木更津市とともに、千葉県知事に對し要望書を提出さらに、この3市に千葉県も加わり国土交通大臣に対しても要望書

答 運行は、4月15日の土曜日及びゴールデンウイーク期間中の土日祝日の計8日間を行い、シャトルカーに乗車された来園者は延べ1590人で、大変好評を頂きました。

昨年度は、千葉市及び木更津市とともに、千葉県知事に對し要望書を提出さらに、この3市に千葉県も加わり国土交通大臣に対しても要望書



合、関係部署と連携調整し現地の確認を行い、所有者に対し、原因となる状況がわかる現場写真に館山市内の草刈り業者等の一覧表を添えて、不動産の適正な管理をしていました。

だくように書面にてお願いをしています。

#### ◆館山市公共施設等総合管理計画は?

問 耐用年数を超過した橋梁の対策について問う。

(本多成年議員)

答 館山市公共施設等総合管理計画に記載の「耐用年数」とは、あくまでも、減価償却資産の価値としての耐用年数であるため、耐用年数を超えて橋梁が、必ずしも危険な橋梁であるとは限りません。現在、道路法の改正により、5年に1回の定期点検が義務付けられており、橋梁が健全であるか、安全対策が必要であるかについては、その点検結果をもとに、4段階の区分で判定されています。

た橋梁はありません。残りの11橋については、本年度、社会資本整備総合交付金を活用し、点検を実施します。

#### 教育問題・少子化対策

##### ◆第三中学校の耐震化は?

問 長期的な視野に立てば建て替えがベストの選択肢であり、建て替えを前提に設計を開始すべきではないでしょうか。

(森正一議員)

答 現段階では、有利な財源を確保することを最優先に、国の機関等との協議を進めています。有利な財源が確保できた段階で、建て替えを前提とした設計を開発していきます。議員ご指摘のとおり、1日も早い、安心・安全な校舎の整備に向け、全力を尽くして施設整備の方針を確定していくたいと考えています。

#### ◆ふれあいきいきサロンは?

問 障がい者や子育て中の親などの参加状況について問う。

(鈴木順子議員)

答 障がい者や子育て中の親子も助成対象ですが、現在のところ、そういう方々の参加はないと伺っています。

(内藤欽次議員)

自主運営型のサロンの立ち上げの支援を行っています。

遇の問題は?

問 業務のやり方やチエック体制、職員の配置や業務量などについて問う。

#### ◆館山市の政策

##### ◆館山市の政策形成基盤は?

問 市の重要な施策などの決定プロセスについて問う。

(龍崎滋議員)

答 館山市が行う重要施策は、長期的なまちづくりの指針として、平成27年度に策定した「第4次館山市総合計画」に基づいて実施しています。

各重要施策の実施に当たっては、府内関係課や関連する機関と協議を進め、可能性のある特定財源を探りつつ、熟度を高め、担当課が考える事業内容や計画事業費を基に、財政部局とのヒアリングを実施し、当該事業の必要性、事業費の妥当性、費用対効果、緊急度、優先度、特定財源の採択状況等について精査した中で、必要な時期に市議会へ報告を行い、最終的には私の判断により、意思決定を行なうというのが基本的なプロセスになります。

問 業務のやり方やチエック体制、職員の配置や業務量などについて問う。

(室厚美議員)

答 はじめに、これまで新規事業者、タクシー事業者による運転免許証を返納した65歳以上の高齢者を対象とした運賃割引の優待制度や、病院等の医療機関が独自に実施している送迎サービスなどがありますので、こうした民間事業者によるサービスを有効に活用していただきたいと考えています。

また、地域別の住民との意見交換会や他市の状況把握、交通事業者との協議など研究を重ね、公共交通の利便性の維持に努めていきたいと考えています。

現在、館山市においては、職務遂行上のミスや不祥事の案件ほど迅速かつ適切な情報発信に努めているところでありますが、こうした事態を厳粛に受け止め、今後、ミスをゼロに近づけるよう、引き続き、適正かつ確実な事務執行に努め、市民の皆様の信頼回復に取り組んでまいります。

#### 健康福祉・介護予防

##### ◆高齢者の交通手段II「足」の確保に努めるべきでは?

問 高齢者の外出支援策を考えいくべきと思うが。

なお、橋梁点検は、平成28年度末現在、144橋(きょう)中133橋が完了していますが、点検の結果、危険で緊急措置が求められる状態と判定され

##### ◆市職員の業務遂行体制や処

中で、担当者から上司への事務決裁の過程でチェックを行っては、毎年度、組織運営の効率化や各部署の業務量と必要とする職員数とのバランスを十分に見極めながら、重点的かつ適材適所の人員配置に配慮しています。

職員の配置や業務量については、毎年度、組織運営の効率化や各部署の業務量と必要とする職員数とのバランスを十分に見極めながら、重点的かつ適材適所の人員配置に配慮しています。

また、事務処理や手続きを行った主担当職員以外の職員が内容を再確認するなどチェック体制の更なる強化に努めています。

◆市役所における業務ミスについて問題点は?

問 チェック体制など確立されているのか問う。

(鈴木順子議員)

答 担当課ごとに様々な事務事業を所管していますが、組織全体として言えることは、「日頃の業務の中には、

市政への信頼喪失などのリスクが潜んでいる」という意識を常に念頭に置き、組織体制としては、事務処理や手続きを行った主担当職員とは別に、その必要性を十分に認識の職員が内容を再確認すること

で業務に対する問題意識を共

有すること、また、職場環境としては、業務を円滑に進めう体制としています。

「ホウ・レン・ソウ」すなわち、「報告・連絡・相談」を徹底し、職場内における対話やコミュニケーションによる情報共有を図ることなどで、ミスを未然に防ぐことができるものと考えています。

加えて、昨年度下期には、各課で過去に発生したミスや、ミスが起きやすいと考える部分のリスト化と、その一部の改善を試行的に行いました。今後も、この取り組みを継続し、ミスの軽減につなげていきたいと考えています。

◆市民や来訪者の交通利便性の確保は?

問 北条海岸から新井海岸までの範囲にある公共駐車場の有料化について問う。

(室 厚美議員)

答 駐車場利用についてのマナーの改善や利用者負担、並びに行財政改革の観点から、千葉県と協議を行っています。

このたび「海岸管理者とし

ての権限について、一体的に行使可能な一定の区域を定め、館山市が移管を受ける形であれば可能である。」との

◆自転車活用推進法は?問 自転車に関する施策を行って上での整備について問う。

(本多成年議員)

答 自転車の活用推進にお

いては、自転車を利用する人

のニーズは、通勤、通学、買物など生活全般のほか、健康増進や二次交通、観光、ス

ポーツなど多様であることか

ら、その目的やニーズに応じたソフト面及びハード面の環境整備を行うことが重要であると思います。

また、事故防止などの安全面や、利用者のマナー改善などについても対策を講じることが大切であると考えます。

したがって、まずは府内において、それぞれの分野での現状把握や問題点の抽出、情報共有を行い、横のつながりを持ちながら、館山市における施策の方向性を明確にした

上で、ソフト面と併せてハ

ド面の整備について、その必

要性、実現性などを研究していきたいと考えています。

(石井 敏宏)

\* \* 議会報編集委員会 \* \*

(○委員長 ○副委員長)

◎龍崎 滋 ○森 正一

石井 敏宏 室 厚美

期目の榎本祐三議員が再選、副議長には2期目の太田浩議員が新たに選ばされました。

●編集後記●

6月議会最終日、議長・副議長の選挙が行われ、4

月議会最終日、議長・副議長の選挙が行われ、4

# 平成29年第1回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第27号	館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認 全会一致
議案第28号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認 全会一致
議案第29号	平成29年度館山市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致

## 平成29年6月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第30号	財産の取得について	原案可決 全会一致
議案第31号	フレフレ・たてやま応援条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第32号	館山市看護師等修学資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第33号	館山市ふるさと創生奨学基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第34号	館山市庁舎建設基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第35号	館山市中山間地域農村活性化基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第36号	館山市子ども・子育て支援基金条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第37号	館山市やさしいまちづくり推進福祉基金条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第38号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第39号	館山市畠地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて	原案可決 全会一致
議案第40号	平成29年度館山市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議案第41号	平成29年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
議案第42号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決 全会一致
議案第43号	館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第44号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決 全会一致
議案第45号	館山市農業委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第46号	館山市農業委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第47号	館山市農業委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第48号	館山市農業委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第49号	館山市農業委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第50号	館山市農業委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第51号	館山市農業委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第52号	館山市農業委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第53号	館山市農業委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
議案第54号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
議案第55号	館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意 全会一致
議案第56号	館山市監査委員の選任について	原案同意 全会一致
発議案第1号	法曹人口政策の早期見直し及び法曹養成制度の抜本的な見直しを求める意見書について	原案可決 全会一致
発議案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決 賛成多数
発議案第3号	国における平成30年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決 全会一致
請願第8号	法曹人口政策の早期見直し及び法曹養成制度の抜本的な見直しを求める決議・意見書採択に関する請願書	採択 全会一致
請願第9号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択 賛成多数
請願第10号	「国における平成30(2018)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択 全会一致
陳情第6号	ソーラーパネル設置規制に関する陳情	継続審査 (建設経済委員会)

付託委員会（□ 総務 □ 文教民生 □ 建設経済 □ 予算審査特別 □ 付託なし）

## 議案ごとの賛否（賛否が分かれたもののみ掲載）

(議席順)